

貴重な文化財を守るために

文化財防火デー防災訓練

昭和24年、法隆寺金堂壁画(国宝)焼失を教訓に定められた文化財防火デー(1月26日)にちなみ、1月27日、南方町の市指定重要文化財「大嶽山興福寺」で防災訓練が実施されました。



本番さながらに建物へ一斉放水しました



地区住民による重要物搬出訓練

訓練には地区住民、消防団、婦人防火クラブ、施設関係者ら約160人が参加。本堂西側にある大嶽山交流広場付近の山林から火災が発生し、延焼する恐れがあると想定して進められました。

訓練は火災発生時の通報や、駆け付けた住民による建物内からの重要物搬出、消火器の取り扱い指導などを実施。農業用散水機械器具を使った消火、建物への一斉放水なども本番さながらに行われました。訓練終了後には、会場を南方老人福祉センターに移し、住職の嶽内真弘さんによる文化財講座、市消防署西出張所の戸田所長による防災講座も開かれ、参加者は貴重な文化財への理解を深めました。

偉大な漫画家の生誕を祝う

石ノ森章太郎メモリアルデーイベント

「石ノ森章太郎メモリアルデーイベント(同ふるさと記念館友の会主催)」が1月27日、同館で開催されました。この催しは、石ノ森さんの誕生日が1月25日であることから、毎年1月下旬の日曜日を生誕記念日に定め、同氏の偉業を後世に伝えていくことを目的に開催し、今年で7回目となります。



親子で協力してオリジナルのたこを完成させました

親子たこ作りには、市内の親子連れ約50人が参加。石ノ森塾生とジュニア・リーダーの指導で、アニメキャラクターなどのイラストを描いた和紙と竹ひごを使って完成させ、近くの水田でたこ揚げをしました。



協力しながら漫画を描く参加者

また、「ウルトラマンダイナ」「仮面ライダーブラックRX」などに出演していた石ノ森さんの長男、小野寺丈さんを招きトークショーも開催。父親「章太郎」の思い出や親子ならではの秘話を語り、生誕を祝いました。



小野寺丈さんが父親「章太郎」を語ったトークショー

親しまれた軽便を懐かしむ

市民劇場「夢フェスタ水の里」

10回目となる市民劇場「夢フェスタ水の里」(財団法人登米文化振興財団主催)が2月16、17の両日、登米祝祭劇場で開催されました。

今回のテーマは、大正から昭和中期にかけて登米(南方・迫・中田・東和・登米)と栗原(瀬峰)の間を走り、「軽便こ」の愛称で親しまれていた「仙北鉄道」。「『軽便こ』は時空を超えて、仙北鉄道物語」をタイトルに、廃線当時

の暮らしの様子や心情などを市内外の出演者約30人が演じました。平成10年度から始まった「夢フェスタ水の里」は、旧9町に伝わる民話などを題材に公演を行い、昨年度で一巡しました。しかし、9年続いた夢フェスタを終わらせてはならないと、これまでの演出者や出演者らが中心となり「夢フェスタをつくる会」を結び、公演に向けた準備を連日

の暮らしの様子や心情などを市内外の出演者約30人が演じました。平成10年度から始まった「夢フェスタ水の里」は、旧9町に伝わる民話などを題材に公演を行い、昨年度で一巡しました。しかし、9年続いた夢フェスタを終わらせてはならないと、これまでの演出者や出演者らが中心となり「夢フェスタをつくる会」を結び、公演に向けた準備を連日



場内では地場産品の販売や仙北鉄道展を同時開催



約150人のボランティアの力で進められた市民劇場



劇は現代の人間が昭和42年の登米駅にタイムスリップ

連夜、熱心に進めてきました。夜公演の初日は965人、最終日の昼公演には1,095人と立ち見が出るほどの大盛況で、熱のこもった演技に会場はわれんばかりの拍手や歓声が鳴り響きました。鑑賞した市内の男性は「昔懐かしい仙北鉄道を題材とした創作劇は、とても素晴らしかった。自分の若いときを思い出し、込み上げるものがあった」と話していました。



代表者の要望や質問に一つ一つ丁寧に答える県知事

県知事と活発な意見を交換

認定農業者連絡協議会 新春意見交換会

認定農業者連絡協議会(高橋幸三会長・迫町)と村井嘉浩県知事との新春意見交換会が1月31日、ホテルサンシャイン佐沼で開催されました。市内の認定農業者や県、市の関係者ら約110人が参加



「元気のでる宮城の農業」をテーマに意見交換

「元気のでる宮城の農業」をテーマに、認定農業者の代表3人が米の生産調整算定方法の見直しや飼料代の支援、バイオエタノールのプラント整備などを村井県知事に要望しました。

水稲と露地野菜を栽培している加美山竜太さん(豊里町)は、「宮崎県のように広報活動を強化して、県内農産物を全国に広めてほしい」と要望。村井県知事は「わたしも県内の農産物が全国でもたくさん売れるように、メディアを通じて宣伝しています。今年は仙台・宮城デステイネーションキャンペーンもあるので、県民全員で『食料王国みやぎ』を宣伝していきましょう」と話しました。